

岩手県陸前高田市の仮設住宅に居住する被災住民の方々に、心身の健康生活への貢献という観点から同市の保健チームと連携し支援活動を行った様子です。

活動内容は、①被災者の健康実態の把握 ②こころのケアに繋げる ③復興計画の基礎資料作成のための被災者世帯調査などです。

陸前高田市の市内



一本松は遠くに



米崎コミュニティセンターに到着、全国から担当者が集まっていた。

米崎コミュニティセンターで日本赤十字秋田看護大学の教員と調整





仮設住宅にて、訪問調査先を確認



支援に来ていた卒業生（保健師）と再会





最後に報告して任務終了

保健師と打ち合わせ 陸前高田仮庁舎



健口体操の説明 高田高校第二グラウンド



プログラム後に談話 高田町雇用促進住宅



陸前高田市日赤六看護大学看護ケアプロジェクトの活動概要

活動期間	派遣先・支援内容	人数
2011年6月	日赤六大学学長会議（プロジェクト立ち上げの合意形成）、看護ケア班との会議、同行活動、地元保健師等の表敬訪問、被害状況の把握	教員2名
2011年8月	日赤六大学陸前高田看護ケアプロジェクト立ち上げに伴う現地保健師との話し合い、復旧状況の把握	教員3名
2011年11月	市が実施する被災者健康生活調査への協力	教員3名、院生1名
2012年12月	被災者の心身の健康生活支援（お茶会、血圧測定、健康相談、健康講話、手洗いチェッカー、太極拳と簡単なストレッチ体操）	教員3名
2012年12月	被災者の心身の健康生活支援（口腔・嚥下体操、背部・ハンドマッサージ）	教員3名